

小国高校

vol 189

2012.10

ジャーナル

小国高校所蔵土器・石器等調査

9月11日(火) 本校が所蔵する土器・石器などの遺物の調査が行われました。

村山民俗学会会長・東北芸術工科大学非常勤講師 野口一雄氏、山形県立博物館学芸員 押切智紀氏・秋葉正任氏の3名が来校し、昭和40年代に本校の郷土研究部が収集し、その後旧興学会館に保管されていた石器や土器などを、一日をかけて分類、鑑定して下さいました。



そろばん玉石



そろばん玉石 (Chalcedony) とは

珠算に使うソロバンの玉のような形をしていることから「そろばん玉石」と呼ばれる玉髓(ぎょくずい)です。流紋岩の中に入っていた玉髓が風化によって分離したものです。

(玉髓：石英の微細な結晶が塊状に集まったもの)

【鉱物図鑑 Weblio 辞書】より引用

その他遺物

